

2023 年度「NPO 法人・礎の石孤児院」活動報告書

NPO 法人礎の石孤児院の活動は、2023 年度においても大きく前進いたしました。

特にザンビアでは、首都ルサカの郊外に土地を購入し、就学支援のためのセカンダリースクール（中高等学校）の建設を昨年から進めておりましたが、2024 年 2 月、建物（中央部分）が完成し、9 年生 11 名が新しくできた校舎で授業をスタートさせることができました。

また、ザンビアで活動している韓国の国際 NGO 団体「グッドネイバースザンビア」様との協力関係も強められ、セカンダリースクール（中高等学校）建設と、プライマリースクール（小学校）運営のために多くのご協力とご支援をいただきました。

また、一般財団法人「ゆうちょ財団・国際ボランティア支援事業部」様から「ザンビア・ルサカ市ンゴンベ地区の HIV 孤児のため」907,573 円。独立行政法人「国際協力機構（JICA）」様から「世界の人々のための JICA 基金活用事業」として「ザンビア HIV 孤児のための初等教育及び給食支援事業のため」1,114,964 円。

公益財団法人「東京コミュニティ財団ファンドクリエーション基金」様から「カンボジア孤児院の子どもたちの学用品購入のため」5 万円、の助成金をいただくことができました。

また、事務局では毎月インターネット・ミーティングを行い、インターネットを用いた広報活動を強化し、ホームページ、Facebook、ツイッター、インスタグラム等の SNS、ニュースレター、パンフレットなどを通して、礎の石孤児院の働きを多くの方々に知っていただいています。

* 国内の活動 *

5 月 * 礎の石孤児院理事会をオンラインで開催し、総会の議案を承認した。(5/6)

6 月 * 第 22 回 NPO 法人「礎の石孤児院総会」をオンラインで開催した。(6/3)
* 都内の桜丘中学高等学校で高校 3 年生（約 300 名）を対象としたグローバル講演会が行われ、木原真副理事長が講演した。事務局スタッフ 5 名も参加した。
(6/24)

7 月 * カンボジア孤児院のルツ前田さんが日本に一時帰国した(7/11~7/22)
* カンボジア孤児院報告会が長崎(7/14,)東京(7/15)で行われ、ルツ前田さんが

カンボジア孤児院の報告を行った。

- * 長野県白馬で行われたキャンプで礎の石孤児院の報告会が行われ、カンボジア現地責任者のルツ前田さんがカンボジア孤児院の報告を行い、約6万円の募金が集まった。(7/20)

8月 * 真境名総主事と事務局スタッフ5名は、三重県四日市市の児童養護施設「エスペランス四日市」を訪問し施設を見学し、施設長にお話を伺った。(8/4)

9月 * プノンペン大学日本語学科に在学中のカンボジア孤児院ナオミが、都内の女子大学に一年間留学のため来日した。(9/13)
* 都内の桜丘中高等学校文化祭で礎の石孤児院パネル展が行われた。

11月 * 兵庫県川西市で関西 J ゴスペル実行委員会主催のチャリティゴスペルコンサートが行われ、日本に留学中のナオミがカンボジア孤児院での体験を話し、クメール語と日本語でゴスペルを歌った。この日217,442円の募金が集まった。(11/18)
* さいたま市で埼玉礎の石孤児院支援グループ主催のチャリティコンサートが行われ、日本に留学中のナオミがカンボジア孤児院での体験を語った。約2万円の募金が集まった。(11/25)

12月 * ブラジル孤児院の松本弘子さんが日本に一時帰国した。(12/9~)

2024年

1月 * 東京・原宿で礎の石孤児院のチャリティ路上ライブが行われ、46,000円の募金が集まった。(1/1)

2月 * ザンビアのセカンダリースクール（中高等学校）の建物中央部分が完成し、完成セレモニーが行われた。セレモニーの様子は Instagram でもライブ配信された。(2/12)
* ザンビアのセカンダリースクール（中高等学校）の新しい校舎で、9年生11名の授業が始まった。(2/13)
* カンボジア孤児院のルツ前田さんが日本に一時帰国した。(2/19~3/1)
* 長野県白馬で行われたキャンプで礎の石孤児院報告会が行われ、ルツ前田さんがカンボジア孤児院の報告を行った。またザンビアのシオン桜子さんも動画で現地の報告をした。会場で募金が行われ10万円弱の募金が集まった。

3月 * 日本に一時帰国していたカンボジア孤児院のルツ前田さんが、カンボジアに戻った。(3/1)

- * NPO 法人「青少年ワールドサポート 21」様のチャリティディナーに招待され、小野島理事と事務局スタッフ 3 名が出席した。(3/11)

*** カンボジア孤児院の活動 ***

【4月】

- * プノンペン市に、社会福祉省に提出する孤児院登録更新手続きに添付しなければならないサポートレターをお願いする。
- * 社会福祉省（3ヶ所）とプノンペン市に 2023 年 1 月～3 月までの活動報告書と会計報告書を提出する。
- * チェントムとヨハンがお正月の為家族親族に会いに行く。
- * カイが家族で来てくれて、差入れも持って来てくれる。

【5月】

- * カンボジアが主催国で東南アジア競技大会が行われたので、子ども達と出掛ける。
- * 前田分のカンボジア免許証の更新を行う。
- * ヨハンが就職して本採用になったので、自立手続きを行う。
- * 長期的なケアが必要な 6 歳の男の子（ダビデ）を、他団体から受入れる。
- * 他団体で働いておられる理学療法士の方がリザを診て下さる。
- * トゥールコーク地区に、2022 年 3 月～4 月分の活動報告書と会計報告書を提出する。
- * 外務省で NGO 団体を対象にした会議が行なわれる。

【6月】

- * ダビデがメソジスト幼稚園に入園する。
- * 雨期に入り、大雨の日が多く、電動ポンプで数回庭に溜まった水を汲出す。
- * スタッフ達に、年 2 回の年功序列補償金(前払退職金のようなもの) 1 回目を支払う

【7月】

- * 社会福祉省（3ヶ所）とプノンペン市に 2023 年 4 月～6 月までの活動報告書と会計報告書を提出する。
- * トゥールコーク地区に、2023 年 5 月～6 月分の活動報告書と会計報告書を提出する。
- * 前田が 2 週間の予定で、日本に一時帰国する。

【8月】

- * トヨタのバンは廃車にしようと思っていたら欲しい方がおられたので、売却手続きをして、後日名義変更手続きは前田も同行して行われる。
- * 以前カンボジアで働いておられた日本人ご家族の娘さんお2人が、孤児院を訪問して下さる。
- * 社会福祉省から外務省のNGO更新に添付しなければならないサポートレターを受取る。
- * ナオミが日本留学の為の奨学金を受ける団体から、日本に行く為のチケットの連絡が入り、出発は9月12日（火）となる。

【9月】

- * ナオミが日本留学の為のビザとパスポートを日本大使館から受取る。
- * ナオミが日本に留学する為、カンボジアを9月12日に出発する。
- * 12年生のチャンが、学校から社会科見学としてトゥールスレインとキリングフィールドに行く。
- * トゥールコーク地区に、2023年7月～8月分の活動報告書と会計報告書を提出する。
- * パンニャーが、後期試験と中学受験を兼ねた試験を受けて無事合格する。

【10月】

- * 孤児院卒業生のパニットが家族で来て、差入れも持って来てくれる。
- * 前田分のビザとIDカード更新書類を外務省に提出する。
- * 社会福祉省（3ヶ所）とプノンペン市に2023年7月～9月までの活動報告書と会計報告書を提出する。
- * ダビデの通うメソジスト幼稚園で、年長の卒園式が行われスタッフ1人が出席する。
- * 地面から水が流れ始めて来たので、政府機関の方から水道工事に来てもらう。原因は、政府が引いている水道パイプの破損だったので、交換修理をしてこちらの経済的な負担はなかった。
- * メソジストスクール12年生のチャンが、学校の終業式に出席する。
- * 雨期に入り、大雨の日が多く、電動ポンプで数回庭に溜まった水を汲出す

【11月】

- * トゥールコークの社会福祉課から3人の方々が視察に来られる。
- * チャンが、高校卒業試験を2日間受けて合格する。
- * 前田の1年間のNGOビザ更新の際、古いビザにスタンプが押されていた為外務省から更新出来ないと言われて、イミグレーションと空港に行って押されたスタンプが間違って7月の一時帰国時に押されたことがわかり、空港の担当者の方に

会いスタンプを消して下さったので、外務省でビザの更新が出来た。

- * パンニャーのメソジストスクール中学校への入学願書と、ダビデの小学校への入学願書を提出する。
- * トゥールコーク地区に、2023年9月～10月分の活動報告書と会計報告書を提出する。

【12月】

- * 子ども達とスタッフ達と共に、5年振りにシハヌークビルに海水浴に出掛ける。
- * メソジストスクール及び幼稚園の新学期が、12月中旬からスタートする。
- * 孤児院卒業生のメーンとマイが来てくれて、子ども達1人1人にプレゼントを用意して渡してくれた。ジュースの差入れもあった。
- * 孤児院卒業生のカイが家族で来てくれて、手作りのおやつ差入れがあった。
- * メソジストスクールで12年生になったノエとソティヤに、学校の先生がプライベートで開いておられる塾に呼んで下さり、無料で土日週2回学ぶことが出来るようになった。
- * 社会保険の説明会があり、スタッフ1人が参加する。
- * 高校を卒業したチャンがパン作りを学びたいということで、ちょうど2024年1月からスタートする政府が運営する職業訓練項目に新たに追加されていて、ティモテも学ぶことになり2人の名前を申し込む。
- * 政府が運営する職業訓練校に調理実習も加わっていたので、スタッフのカニが申し込みを行う。毎回NGO更新の際、調理スタッフは調理を学んだことがある証明書が必要になっている為。
- * チャンが久しぶりに親戚の方と会う。
- * スタッフ達に、年2回の年金（年功序列補償金）2回目を支払う。

【2024年1月】

- * メソジストスクールで父兄会が持たれてスタッフ1人が出席する。
- * 以前孤児院でスタッフとして働いていた夫妻が、彼らの子ども達3人も一緒に訪問してくれて、米や果物の差入れもあった。
- * チャンとティモテの、職業訓練校でのパン作りの授業がスタートする。
- * 2023年10月～12月分の活動報告書と会計報告書を社会福祉省3ヶ所とプノンペン市に提出する。
- * トゥールコーク地区に、2023年11月～12月分の活動報告書と会計報告書を提出する。
- * 東京アンテオケ教会のノア輝美さんが、仕事の出張でラオスとタイまで来られるということでカンボジア孤児院にも立寄って下さる。
- * 外務省から連絡があり、新しいNGO更新書類にサインと孤児院印を押しに行った。

- * 阿片さんが、船便でご支援の品々を送って下さり受取る。
- * 孤児院卒業生のメーンとマイが来てくれて、ピザと飲み物の差入れがあった。マイは1月からコーヒーショップを始めたとのこと。

【2月】

- * 外務省に2023年1年間の活動報告と会計報告、スタッフリスト、納税済書類3ヶ月分を提出する。
- * 隣から修理道具がこちら側に落ちて来て、外の手洗用洗面台が破損した為、隣から謝罪に来られて新しいものと交換する。。
- * 外務省から新しいNGO更新書類を受け取る。期日は3年後の2月8日まで。
- * 孤児の受入れの事で、他団体から要請がありその団体をスタッフ達3人で訪問する。
- * 財務省に、2023年1年間分の活動報告書と会計報告書、スタッフリスト、外務省と社会福祉省のNGO更新書類のコピーを提出する。
- * 前田が3月1日（金）まで、約2週間の予定で日本へ一時帰国する。

【3月】

- * 12年生のソティヤが、高校最後の卒業試験を受験する為の名前の登録を政府機関に申請し受理される。ノエは、出生証明書と学校で作成された名前が違うことがわかり、現在対応中。
- * 世界女性の日の祭日に、女性には割引の特典があったので、子ども達が近くの遊園地に出掛ける。
- * 知合いの政府機関の方が12歳？くらいと思われる男の子を連れて来られて、スタッフが一緒に家族と親族を探しに地方まで行くが、まだ見つからない。孤児院で預かるという形になっており、孤児院の管轄である政府関係者の方々と対応に関して話し合いを持つ予定。

【現在孤児院で生活している孤児】

男子7名 女子9名 計16名

(内訳) 未就学児		女子1名
幼稚園		女子1名
小学生	男子2名	女子3名
中学生		女子1名
高校生	男子1名	女子1名
大学生		女子1名
職業訓練生他	男子4名	女子1名

*** ブラジル孤児院の活動 ***

2023 年

- 4月 * イラストを月 1 回のニュースレターに投稿し始める。
- 5月 * 市内の児童学習支援施設の音楽の授業に YAMAHA の笛を購入のため
 寄付金を送る
- 11 月 * 同上の市内の児童学習支援施設へクリスマスプレゼントをする。
- 12 月 * 日本に一時帰国し東京・高円寺で報告会を行う

2024 年

- 1 月 * アニメ制作チームとしてフィルムフェスティバルに作品を出品する。
- 2 月 * 長野県白馬村にて報告会とオンライン報告会に参加 する。
 他の活動を行ないました。

*** ザンビア孤児院の活動 ***

Cornerstone Of Hope 活動

ザンビア共和国では 2019 年より、孤児院を管轄する政府機関(地域開発社会サービス省社会福祉局)が、国連機関(ユニセフ)及び国際 NGO(セーブザチルドレン)、その他現地機関と連携しながら、孤児院やストリートチルドレン保護シェルター等の施設にて養育されている児童達を、家族／親戚による養育に移行していく施策(CIF:Children In Family)を進めている。その根底には、“子ども達は施設ではなく、できるだけ家庭的な環境で成育する事が望ましい” という理念がある。

この CIF の実施は、官民の担当官が全ての孤児院やシェルター及び児童の家族／親戚を巡回し、家族の元に戻す事が可能な児童を、当面の食糧・衣服・寝具・現金と共に施設から家庭へ送り出す形で行われている。

そのために、現存する孤児院等施設の役割は、“保護と養育”から、“教育支援”に移行され

ており、コーナーストーン オブ ホープの学校運営も、その方針に沿った孤児支援事業となっている(参考：添付資料)

2023年4月

- ① 4月6日より、学期間の休校(1ヶ月間)。※但し、学びに遅れている児童には2週間の補習を行い、朝食のみ提供した。
- ② JICA(国際協力事業団)から協力頂いた「世界の笑顔のために」による寄付物品(サッカーユニホーム、文房具等)のお礼状提出。
- ③ 学校敷地内に手洗い場を設置。
- ④ 中高等学校建設費のドナーである、韓国の国際 NGO「グッドネイバーズ」とミーティングを重ねて、建設会社との契約打ち切り決定。

5月

- ① JICA スタッフおよび青年海外協力隊員の見学を受ける。
- ② 8日より学校開校
- ③ 日本人の旅人(男性ひとり)の訪問を受ける。
- ④ オンライン旅行プラットフォームを提供する Agoda International Japan の CSR(企業の社会的責任)のボランティアグループによる、子どもたちへのオンライン英会話教室開催(定期的に行われてきている)
- ⑤ グッドネイバーズの代表の訪々に伴い、学校を訪問頂き、全児童へ通学リュックのギフトを頂いた。
- ⑥ グッドネイバーズが世界中で開催している「グローバル ユース ネットワーク」プログラムの一環である“持続可能な開発”セミナーに、教員、生徒(中2)が参加
- ⑦ TAKUSAN プロジェクト(家族の危機に寄り添い、食糧や医療費、家賃援助等を一定期間行う)により、かつて母親(シングルマザー)がドメスティックバイオレンスの被害を受け、精神病を発症し、就労が困難になった家庭への家賃援助を行なった。

6月

- ① 株式会社「With The World」が主催するオンラインスタディツアーで、日本の高校生、中学生たちと交流。
- ② JICA 職員の紹介により、急遽日本のロータリークラブ会員 3 名の訪問見学。建設中の中高等学校も見学頂く。
- ③ 外部より音楽教員を雇用し、週 1 回のミュージックレッスンを 6、8 年生対象にお始めた。
- ④ ご寄付を頂き、中古四輪駆動車を購入。

7月

- ① グッドネイバーズ主導で、中高等学校建設を引き継ぐ会社選定のための、現地見学

会及び見積もり作成

- ② JICA のプログラム “教員海外研修 “により、日本全国の教員 16 人の訪問を受け、読み聞かせコンペティションと運動会を主催
- ③ 中高等学校に政府から建設基準のインスペクターが調査に入る→問題なし
- ④ With The World オンラインスタディツアー

8月

- ① 4日より1ヶ月の夏季休校
- ② タイガーモブ株式会社のスタディツアーにより、11人の日本人(中学生～大学生)が3日間、子ども達と交流。折り紙やスポーツ、ソーラン節を一緒に踊るなどした。日本のカレーライスも楽しむ。
- ③ タイガーモブチームの農村地域の医療事情の見学ツアー

9月

- ① TAKUSAN プロジェクトで家賃、医療費、食糧支援を1家族に行う。
- ② グッドネイバーズのとのミーティングにて、中高等学校建設を引き継ぐ会社の予定
- ③ 11日、学校開校
- ④ JICA 職員及びその他の見学者受け入れ

10月

- ① 中高等学校建設会社と契約締結及び引き続き、建設再開(12月末の完成を目指す)
- ② JICA の物品寄付プログラム「世界の笑顔のために」で、物品(ボール、サッカーユニフォーム、裁縫道具等)を受け取り
- ③ COH にて独立記念日のお祝い及び。大使館員の見学を受ける
- ④ 7月に JICA 教員海外研修で来られた千葉大学教育学部附属小学校の先生とオンラインミーティング。今後の交流に関して。

11月

- ① ファンドライズのためのチーム「ミリオンズスタープロジェクト ジャパン」立ち上げ。特に中高等学校建設費用等の資金づくりを目指す。
- ② TAKUSAN プロジェクトとして、遺伝疾患である鎌形赤血球貧血症のため体調が悪化して入院した児童のため医療費等支援
- ③ 在ザンビア日本人ボランティア 2人の参加を受けて、「ミリオンズスタープロジェクト ザンビア」を立ち上げ。資金づくりのためのメディア活動(ブロシャー、SNS 動画等作成)を開始

- ④ グッドネイバースと中高等学校の敷地の塀に関して現場にてミーティング

12月

- ① 日本、ザンビアからのボランティアにより COH でクリスマスパーティー開催
- ② 礎の石孤児院理事会とのミーティング(今後の事業計画に関して)
- ③ 青年海外協力隊員赴任
- ④ 孤児の新規受け入れのため、リサーチの一貫で、協力隊員、撮影隊とともに孤児家庭を訪問
- ⑤ 礎の石孤児院アニメ制作に関わるオンラインミーティング
- ⑥ NPO セカンドライフ様とオンラインミーティング。今後のスタディツアー、寄付(PC、タブレット等)に関して。

2024年1月

- ① 新学年の開校準備。8日月曜日に開校予定だったが、コレラの流行により、全学校が休校となった(2月12日には開校)
- ② 中高等学校建設工事が遅延しつつも、それに合わせて机や椅子、その他の物品の発注等を進める。
- ③ 9年生(中3)11名の国家試験受験登録
- ④ プライマリー生徒の制服発注
- ⑤ 千葉大学教育学部附属小学校の生徒達と、オンラインにて交流
- ⑥ With The World と今後のプログラムに関してミーティング
- ⑦ 中高等学校開校に向けた準備(物品購入)
- ⑧ 中高等学校建設会社より、校舎のハンドオーバー
- ⑨ コレラ対策として政府により義務付けられた、料理人の衛生管理資格をワーカー達に取得させる。

2月

- ① With The World 主催のパネルディスカッション「異文化におけるリーダーの在り方」に講師として参加
- ② 中高等学校の環境整備(セキュリティ確保のための植栽)
- ③ 中高等学校建設完了セレモニー及び開校式典(2/12)
- ④ プライマリーの教室の外壁が外部から破損→警察への通報(誰かが窃盗のために侵入を試みた事案として)と補修工事

3月

- ① 他の NGO 団体の見学を受ける
- ② 日本の大学院生のフィールドワークの研究に協力(小学校、中高等学校にて)

*** フィリピン孤児院の活動 ***

【就学支援の働きに関して】

フィリピン礎の石教育プログラムでは文盲の子どもたちを少しでも減らすために、恵まれない子どもたちに学校教育を受ける機会を提供しています。

皆様のご支援によって昨年度は 34 名の子どもたちの就学を支援しました。

彼らは親がいても経済的に子どもを学校へ通わせることが出来ない家庭の子どもたちです。

子どもたちが自身の価値を信じ、道徳的な事柄も学べるように、経済的のみならず、精神的にも霊的にも助けることが出来ました。

また皆様のご支援により、2024 年 1 月には 4 年ぶりに就学支援生が全員集まる「感謝パーティー」を開くことが出来、子どもたちもスタッフも思い出に残る楽しい時を過ごしました。心から感謝致します

。2023 年度の授業は 8 月 23 日から始まり、2024 年 6 月 7 日に修了する予定です。

今のところ来年度の学校登録は 5 月から、授業は 6 月 24 日から始まる予定です。

来年度は 34 名の子どもたちの就学を支援していくために、まず学校カバンや靴、制服、体育着、ノートやペン、クリアファイル、クレヨン等の学用品のために\$3,674.82、さらに毎月行われる学校行事のために\$3,675.00、総額\$7,349.82 の必要があります。

新学期が始まる前に学用品を購入し子どもたちに届ける必要があります。

各地域に届けるための交通費も含まれています。

また学校行事参加費用は 2023 年度の行事を元に算出しています。

学校では毎月、言語とフィリピン文化月間、栄養月間、子ども月間、国連月間、教師月間(世界教師の日)、等毎月行事があります。

その他、進路を決める助けとなる職業セミナー、職場体験期間もあります。

2024 年度就学支援必要\$7,349.82 のために、さらにお祈り頂ければ幸いです。

2023 年

5 月 * 学用品の準備

6 月 * 学校登録、登録料及び授業料の払い込み。学用品購入後、各地域（マハヤハイ、スモーキーマウンテン、カタルナンペクウェーノ、カリナン）の子どもたちに届ける。

- 7月** * 栄養月間 PTA のミーティング。課題はそれぞれ学校へ何を寄付できるかについて（扇風機、テレビ、衛星用品等）
- 8月** * 2023年度の授業スタート
- * 言語と文字月間
- 9月** * 実技発表（踊り、料理、裁縫など各々の選択科目による）
- * 生徒会選挙。
- 10月** * 国連月間。図書月間。 *学期試験
- * ボーイスカウト、ガールスカウトのキャンプ
- 11月** *子ども月間（11月20日の世界こどもの日にちなんだ行事）各種パフォーマンス、PTA ミーティング。
- 12月** * クリスマスのお祝いとパーティ。クリスマス休み。
- 2024年**
- 1月** * 就学支援生全員集まったの感謝パーティ
- 2月** * バレンタインディにちなんだ行事、発表会。
- 3月** * 12年生の全国一律卒業試験（大学進学資格試験）

* 毎月・ニュースレターを発行、全国のパートナー会員に発送いたしました。